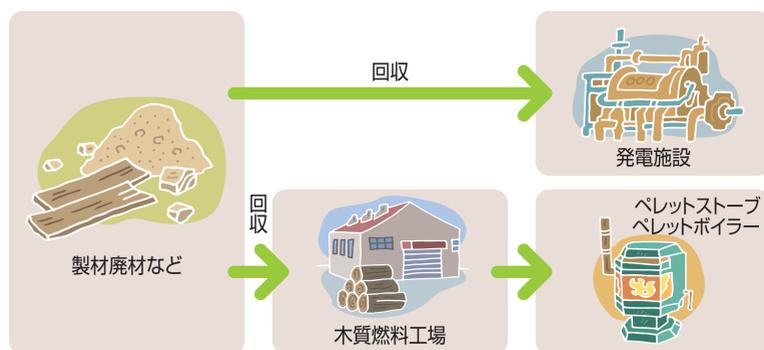


# バイオマス燃料製造

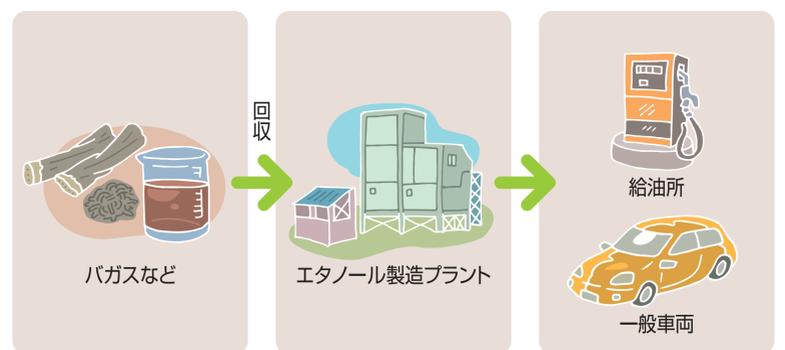
## —バイオマスを燃料に変える—

バイオマスとは、動植物などから生まれた生物資源の総称で、これらの資源からつくる燃料をバイオマス燃料と呼びます。つくられる燃料は、ペレットなどの固体燃料、バイオエタノールやBDF（バイオディーゼル燃料）などの液体燃料、そして気体燃料と様々なものがあります。

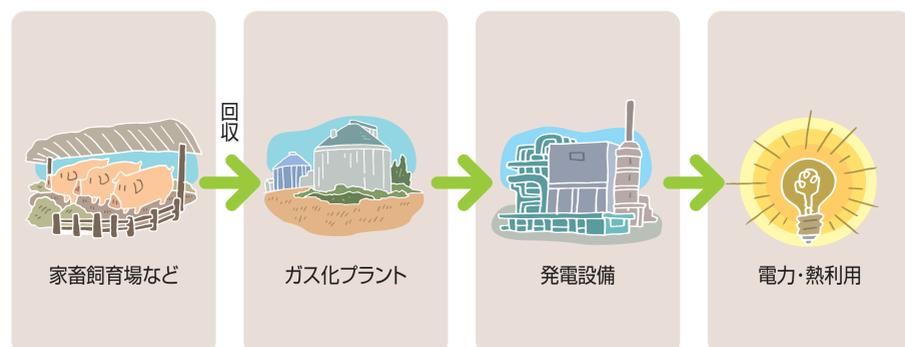
### 木質燃料



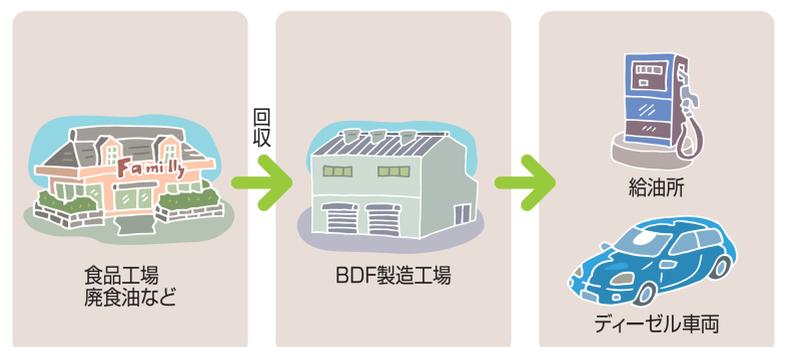
### バイオ燃料 (バイオエタノール)



### バイオガス



### バイオ燃料 (BDF)



## 事例紹介

### 油藤商事



地域循環型の取り組みの一つとして、回収した廃てんぷら油からバイオディーゼル燃料を精製する自社プラントを建設。これを使って精製したバイオディーゼル燃料を軽油に混合し店頭販売している。



### 京都市廃食用油燃料化施設



京都市では、市内の家庭より回収された廃食用油を原料に、日量5,000リットル、年間150万リットルのバイオディーゼル燃料を製造。これを京都市のごみ収集車や市バスに活用している。

### 真庭エタノール実証プラント



国内有数の林産資源生産地であり、市内に約30の製材所が集中する岡山県真庭地区では、製材端材や林地残材などを主原料に、遺伝子組み換え酵母を使い、約250kg/日のエタノールを製造。精製したエタノールは三井造船が開発した技術により無水化される。

